

# 横芝光町の ここが聞きたい！

12月定例会  
一般質問

～ 5名の議員が登壇し、町政を問う～

## 登壇者と通告内容

### 鈴木 輝男 議員・・・P5

- ◆栗山川河川、その周辺について
- ◆県営住宅について（大島団地、栗山団地、光団地）

### 山崎 義貞 議員・・・P8

- ◆生産者米価暴落の対策について
- ◆気候危機打開の取り組みについて
- ◆適格請求書等保存方式（インボイス制度）について

### 宮菌 博香 議員・・・P6

- ◆東陽病院について
- ◆高齢者対策について
- ◆町長の政治姿勢について
- ◆行財政運営について

### 川島富士子 議員・・・P9

- ◆結婚、妊娠・出産、子育ての丸ごとサポートの具体的な取り組みについて
- ◆消費者教育について
- ◆寄り添う行政支援について
- ◆地球温暖化・気候変動の影響に対する取り組みについて

### 森川 貴恵 議員・・・P7

- ◆教育関係について
- ◆選挙区について
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種について

### ① 一般質問とは

町の行政全般について、執行機関に疑問点を問い見解を求めるものです。議会だよりに掲載される内容は紙面の都合上要点のみとなっています。掲載できなかった質問は、町ホームページからご覧いただけますので、ホームページ内の「議会会議録」よりご覧ください。

なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和3年9月議会定例会までご覧いただけます。





鈴木輝男 議員

# 栗山川周辺環境ボランティアの 草刈機刃補助の考えは

## ボランティア活動事業を 実施していく中で検討していく

一般質問

**A** 西防波堤は、昭和45年から工事が着手され、昭和52年に完成されたもので、津波や高潮の被害から陸域を守り、海岸の浸

**Q** 屋形の西防波堤を、先へ長く伸ばす考えは。

きたいとのことですが、河口付近が漁港区域となっており、管轄する千葉県銚子漁港事務所と調整のうえ、土砂等の堆積状況を確認しながら検討していきたいとのことですが、

現在、河口から横芝堰までは、河道拡幅及び築堤が完了していると聞いております。また、浚渫につきましては、

**A** 栗山川は、千葉県山武土木事務所が河口より順次河川改修工事を進めており、

**Q** 栗山川の河口を広げ、浅くなつた河口を浚渫する考えは。

食を防ぎ、波浪から港内の安静を保つため設置された構造物であり、現在漁船を停泊させるなど、栗山川漁港を利用している漁業者もいないことから、西防波堤を延長する予定はないと伺っております。



▲西防波堤

**A** 栗山川の自然環境を保全するため、町民の皆様や事業者の方々のご協力をいただき、堤防の草刈りやごみ拾いを行っております。現在、栗山川周辺環境ボランティアに参加さ

**Q** 栗山川周辺環境ボランティアの草刈機刃の補助についての考えは

栗山川周辺環境ボランティアの草刈機刃の補助についての考えは、

栗山川の自然環境を保全するため、町民の皆様や事業者の方々のご協力をいただき、堤防の草刈りやごみ拾いを行っております。現在、栗山川周辺環境ボランティアに参加さ



▲栗山川周辺環境ボランティア

**A** 現在、町内には大島団地、栗山団地、光

**Q** 新しい県営住宅の新設の考えは

れた方には、花の種やトートバッグ、タオル等の記念の品と飲み物を提供しております、また、草刈機をお使いの方に燃料の補充をさせていただきます。草刈機をお使いの方に対する替刃の配布につきましては、ボランティア活動事業を実施していく中で、検討させていただきます。草刈機をお使いの方に対する替刃の配布につきましては、

現在、町内には大島団地、栗山団地、光

あり。県営住宅の新設及び維持管理については、「千葉県県営住宅長寿命化計画」が策定されており、



▲県営住宅（光団地）

その中で、団地別・住棟別の事業手法の選定方針により、需要の多い東葛、葛南地域においては、新規住宅建設が計画されているものの、その他の地区については、将来の人口・世帯数の減少を踏まえるとともに、団地の立地状況、用地の有関係、住棟の老朽化状況を考慮し、広域的に集約することとしているとのことです。

# 多くの住民から

## 予約が取れないという苦情の声

### ワクチンの供給量が少なく

### 供給ペースが遅かった



宮 蘭 博 香 議員

**Q**

東陽病院について、①今年のインフルエENZA予防接種については、多くの住民から予約が取れないという話がありました。また、町内開業医からも東陽病院どうなっているのかという疑問の声も聞かれましたが、管理者である町長は、このような話や声は聞かれていないのかお伺いします。また、聞かれていることであるならば、なぜこのような状況になってしまったのか、お伺いします。②総合計画を策定する中で、「横芝光町まちづくり住民会議」から子どもたちの未来を応援する中で、東陽病院への小児科・産科の開設など出産・子育て期

の充実を図る。ということが示されていました。大変素晴らしいことだと思います。しかしながら、当地域は医療過疎地域であり、東陽病院に小児科・産科を開設できる状況にあるのか、お伺いします。③町に入院できる施設を要しているのは東陽病院しかありません。私の願いは病院運営全般にわたり見直しをしていただき、将来にわたり東陽病院を町立病院として存続していただくことです。そのためには、医師及び看護師をはじめとする医療スタッフの確保は必要不可欠であり、同時に職場環境を充実させていかなければならないと思います。特に、若い看護師の退職者が多いように思われますが、どのような原因があるのか、お伺いします。

**A**

①状況は承知していません。今年のワクチン供給予定量が昨年に比べ少なく、供給ペースが遅いことと新型コロナウイルスワクチン接種を優先したことによるものです。②東陽病院への小児科の開設、以前あった産科の復活を望む声については、様々な場面で、多くの方々からいただきますが、小児科医・産科医の偏在・不足については全国的な問題であり、町レベルでは解決が難しい大きな問題であります。しかしながら、安全な妊娠・出産

のための支援づくり、親子の健康の確保、子育てに対する不安の解消を図るうえで重要と考えていますので、今後も国・県の小児科医・産科医の確保政策を注視していきます。③良好な病院運営のため、いかに収益を上げていくかということとは課題でありますが、医師及び看護師をはじめとする医療人材の確保も必要不可欠です。職場環境については、育児や介護の制度が充実しており、子育てなどには適していると考えています。しかしながら、自身のスキルアップのため他院へ移動を希望する職員がいるのも事実です。今後も地域医療継続のため、病院の

**Q**

（株）カスミ横芝光町店さんが10月18日から

評判の良い移動スーパー

職場環境の改善を図りながら働きやすい職場づくりを進めることで人材確保に繋げ、良好な病院運営に努力していきます。

**A**

利用者のニーズが反映できるように（株）カスミに要望していきます。

移動スーパーをオープンしてくださいました。現在の状況は、町内47か所を1週間に1回回ってくれていますが、とても評判の良い地域が複数あります。中には採算の合わないところもあるかと思いますが、今後、益々高齢化が進むので、町当局には地域住民に移動スーパーを周知していただき、売り手と買い手がマッチングするような橋渡しと、評判の良い地域には週2回回れるような対応をお願いしていただければと思います。③町長のお考えをお伺いします。



森川 貴恵 議員

# 現在の衆議院議員小選挙区について どう考えるか

代々続いてきた地域の代議士を応援してきたという地域性、投票する人と支援される人の関係性もあるので積極的に一つにしようとはしない（町長）

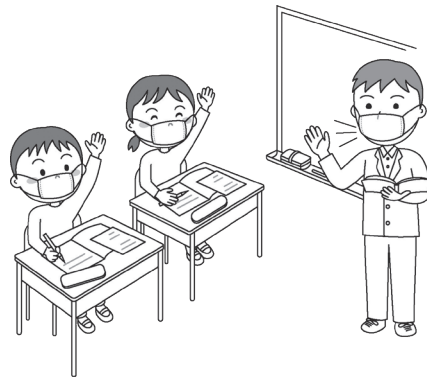
**Q** 当町においてIGAスクール構想に基づき行われる教育の具体的内容は

**A** 昨年度導入した児童生徒一人一台端末及び高速大容量の通信環境の下での新しい学びが本格的にスタートし、各学校での活用を積極的に進めているところですが、今後は、国が施行している「学びの保障オンライン学習システム」とIGA端末との連携が強化され、端末の学習eポータルを通じた学習ツールとの連携や自動採点システムによる学力調査等の実施が予定されておりあります。

**Q** 新型コロナウイルスによる学校教育現場への影響は

**A** あらゆる場面でマスクを着用し、グループ活動、技能教

科の実技の制限、給食の黙食が日常生活で行われるようになりました。校内外の行事の中止、保護者や地域住民の来校制限、地域交流の機会も少なくなっております。



**Q** 現在の当町の衆議院選挙区についてどう考えるか

**A** 千葉県第10区、11区と分れていることにより、有権者の方からは分かりづらいとの意見もいた

ております。（選挙管理委員会書記長）

**Q** 二つの選挙区があるのが不都合な点はないのか

**A** 期日前投票所の設置、開票所の分設など、選挙の管理執行において、正確さが求められる事務が増大していることが課題です。

**Q** 今後どのように考えているのか

**A** 令和2年の国勢調査の数値をもとに、衆議院議員選挙区画定審議会

**Q** 新型コロナウイルスワクチン接種3回目

**A** 医療従事者については12月以降、高齢者の集団接種については令和4年3月以降の実施を見込み準備を進めております。

**Q** ワクチンインセンティブについてなにか考えはあるのか

**A** インセンティブを設定するよりも適切な情報提供により、未接種者が正しく判断することが肝要であると考えております。

**Q** 第6波への備えは

**A** 計画的に円滑なワクチン接種の実施に向けて準備にあたる一方で、

令和4年の通常国会で成立すれば、同年夏以降に執行される衆議院総選挙で新たな区割りになる見通しです。選挙区が分かれていること

一般質問

# 米価暴落に伴う次期作支援の対策について

## 水田活用直接支払い交付金の

### 申請を推奨していく



山崎 義貞 議員

**Q** コロナ禍の長期化で米の需要が大きく減少し生産者価格は9,000円台までに大暴落し、米作りが続けられない事態となっている。米生産農家が安心して経営の継続ができる価格保証と支援が必要では。

**A** 農業者の経営の安定を図るため、国及び県と連携し水田活用の直接支払交付金の申請を推奨してきました。申請者は増加し、飼料用米の申請者は前年比90人増の127人、面積は169ha増の209haとなりました。町から交付金の申請者には、需給調整推進対策奨励事業で奨励費を助成しています。今

後も奨励費の助成を検討してまいります。



**Q** 2014年11月山武郡市町会で国に「米価下落に対する要望書」を提出している。米価対策を要請すべきでは。

**A** 国に対する令和3年産米の価格対策に係

る要望書の提出について、国の動向に注視していくとともに、山武郡市内の市町と連携を図り検討してまいります。

**Q** 消費税の適格請求書保存方式（インボイス制度）は、令和5年10月実施に向け10月から受付がスタートしたが、インボイス制度は、家族農家と産直組織の経営を直撃する大問題です。個人事業者であるシルバー人材センターで働く人への影響は。

**A** シルバー人材センターに登録されている会員は、個人事業主として仕事を請け負うため、支払われる配分金には消費税が含まれています。多くの

会員は課税売上高が1,000万円以下であり、消費税の納税義務は免除されています。当町のシルバー人材センター事務局に確認したところ「センターでは、配分金に含まれる消費税額分が仕入税額分控除を行うことができないため、会員に支払う配分金に含まれる消費税相当額を新たなコストとして負担し納税する必要が生じ、この新たなコストをどう負担するのか大きな問題となっている」とのことです。なお、センターでは現在、制度に関する研修を受講し今後の対応について上部機関へ相談を行っているとのことです。

**Q** 自然環境を壊して進める太陽光発電には反対するものですが、遊休地や耕作放棄地の活用、家庭用の小規模発電など積極的に取り組むべきではないか。

**A** 再生可能エネルギー推進事業として、住宅用の太陽光発電施設及び蓄電システム設置への補助事業を実施しています。本年度は各3件の予定が5月には枠が埋まり、受付が終了しました。その後も問い合わせがあったことから、来年度以降も積極的に事業を推進していきたいと考えております。





川島 富士子 議員

# シニア世代に スマホデビュー応援事業を

## 講座の開催方法などを検討

**Q** 「出産育児一時金」差額負担支援のために、出産祝金制度の創設を。

**A** 近隣自治体の芝山町では、第2

子以降に出生した子どもを対象として、10万円から70万円までの範囲で出生時の状況に応じて支給、大網白里市では、第3子以降に出生した子どもを対象として、1人につき8万円を支給、多古町では第1子及び第2子に対して10万円、第3子以降に対しては30万円の支給のほか、対象児童の小学校入学、中学校入学及び卒業時に対しても祝金として現金と商品券を合わせて支給を行っています。いずれの自治体も、出生児を奨励祝福するとともに子育て支援の充実及び次代を担う子どもの健全育成に資すること

を目的としており、当町では出産時における子育て世帯への経済的負担の軽減が図られることのほか、移住・定住の促進などの総合的な観点から捉え、今後、調査研究してまいります。



**Q** 子育て応援アプリの導入は

**A** 現在ほとんどの子育て世代の保護者はスマートフォンを持っているマートフォンを持っていると思われまので、今後アプリ等の導入に向けた調査研究をしてまいります。

**Q** おくやみ窓口設置を

**A** 死亡届出後に、必要な手続きをワンストップで行う「おくやみ窓口」の設置は、お亡くなりになられた方の年齢や生活状況により様々であり、必要な手続きは多岐にわたりますことから、今後、関係課と協議しながら調査・研究し、町民の皆様の利便性の向上に努めてまいります。

**Q** 各種発行手数料の電子決済は

**A** 電子マネーの普及、クレジットカードの浸透及び新型コロナウイルス感染拡大防止により、現金を必要としない非接触の電子決済を使用する機会は増えており、住民課が所管する各種発行手数料の電子決済も、町民の皆様の利便性の向上に資するよう他の自治体の先進事例を参考に検討してまいります。

**Q** シニア世代にスマホデビュー応援事業を

**A** マイナンバー制度や電子決済など社会全体のデジタル化が進められている中、デジタル技術を使いなせる方々とそうではない方々の「デジタル格差」の解消が課題となっています。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進め、高齢者をはじめとした誰もがデジタルを活用できる社会の実現が重要であります。国の「デジタル活用支援推進事業」を活用し高齢者向けのスマートフォン講座などを開催することは可能であり、講座の開催方法などを検討してまいります。

**※その他の質問**

- ・産後ケアの充実「産後ドゥーラの導入」を令和4年4月からの「18歳成人」に伴う、高校生への消費者教育支援を
- ・流域治水対策は
- ・脱炭素社会実現に向けた、「ゼロカーボンシテイ宣言」の表明を
- ・温暖化対策へ、「気候非常事態宣言」の発出を

一般質問